ALLHERO'sS1武道祭　in さがみはらフェスタ
～　挑戦した者はみんなヒーローだ　～

選手募集要項

■開催日　　:2026年11月7日（土）8日（日）
■会場　　:相模原フェスタ内特設リング
■イベント名:ALLHERO'sS1武道祭inさがみはらフェスタ
■実施組織　:ALLHERO'sS1武道祭実行委員会
■申込方法　:下記QRコードより受付
■大会開催日
11月7日　土曜日13時～18時　キッズ空手トーナメント
11月8日　日曜日10時～17時　キッズキックワンマッチ
キッズ防具空手ワンマッチ
キッズ防具キックワンマッチ
17時～19時　レディースキックワンマッチ
レディース防具キックワンマッチ
メンズキックワンマッチ

■実施目的

① 子どもたちの成長機会の創出
日頃の練習成果を発表する場を提供する。
成功体験や挑戦する経験を通じて自己肯定感を高める。
目標を持って努力することの大切さを学ぶ機会とする。
自分たちで考え・仲間を想い行動することの大切さを学ぶ機会とする。
② 武道・格闘技文化の普及
キックボクシングや空手の魅力を地域住民に広く知ってもらう。
武道を通じた礼儀・規律・忍耐力などの教育的価値を発信する。
競技人口の拡大や青少年の健全育成に寄与する。

■参加費

キッズ空手トーナメント	6，000円
キッズ防具空手ワンマッチ	6，000円
キッズキックワンマッチ	6，000円
キッズ防具キックワンマッチ	6，000円
ダブルエントリー	9，000円
トリプルエントリー	12，000円
レディース・メンズキックワンマッチ	8，000円

■キッズ空手試合時間・開催カテゴリー

1年・2年男子混合　初中級トーナメント　試合時間　1分00秒　延長1分00秒
1年・2年女子混合　初中級トーナメント　試合時間　1分00秒　延長1分00秒
3年・4年男子　　初中級トーナメント　試合時間　1分30秒　延長1分00秒
3年・4年女子　　初中級トーナメント　試合時間　1分30秒　延長1分00秒
5年・6年男子　　初中級トーナメント　試合時間　1分30秒　延長1分00秒
5年・6年女子　　初中級トーナメント　試合時間　1分30秒　延長1分00秒
※ クラスは統廃合することがあります、時間、体重等は大会時の規定による
※体重が近く、経験数も見合ったマッチメイクをいたします

■キッズ防具空手ワンマッチ（TSルール）・開催カテゴリー

1年・2年男子混合　初中級　試合時間　最大2分00秒　延長1分00秒
1年・2年女子混合　初中級　試合時間　最大2分00秒　延長1分00秒
3年・4年男子　　初中級　試合時間　最大2分00秒　延長1分00秒
3年・4年女子　　初中級　試合時間　最大2分00秒　延長1分00秒
5年・6年男子　　初中級　試合時間　最大2分00秒　延長1分00秒
5年・6年女子　　初中級　試合時間　最大2分00秒　延長1分00秒
※ クラスは統廃合することがあります、時間、体重等は大会時の規定による
※体重が近く、経験数も見合ったマッチメイクをいたします

■キッズ防具キックワンマッチ（TSルール）・開催カテゴリー

1年・2年男子混合　初中級　試合時間　最大2分00秒　延長1分00秒
1年・2年女子混合　初中級　試合時間　最大2分00秒　延長1分00秒
3年・4年男子　　初中級　試合時間　最大2分00秒　延長1分00秒
3年・4年女子　　初中級　試合時間　最大2分00秒　延長1分00秒
5年・6年男子　　初中級　試合時間　最大2分00秒　延長1分00秒
5年・6年女子　　初中級　試合時間　最大2分00秒　延長1分00秒
※ クラスは統廃合することがあります、時間、体重等は大会時の規定による
※体重が近く、経験数も見合ったマッチメイクをいたします

■キッズキックワンマッチ　試合時間・開催カテゴリー・規定体重

Kidsキック（小学生1年生～6年生迄）
規定体重　－25kg、－30kg、－35kg、－40kg、＋40kg
試合時間　1分30秒2R (休憩 30秒)

■レディース・レディース（TSルール）メンズキック　試合時間・開催カテゴリー・規定体重

■レディースキック
年齢カテゴリー　35～45歳迄　・　45～59歳迄
規定体重　　－50kg、－55kg、－60kg、－65kg、＋65kg
試合時間　　1分30秒2R (休憩 30秒)

■レディースキックワンマッチ（TSルール）
年齢カテゴリー　35～45歳迄　・　45～59歳迄
規定体重　　－50kg、－55kg、－60kg、－65kg、＋65kg
試合時間　　1分30秒2R (休憩 30秒)

■メンズキックワンマッチ

年齢カテゴリー　35～40歳　・　41～45歳　・　46歳～55歳　・　56歳～
規定体重　　－55kg、－60kg、－65kg、－70kg、－75kg　＋75kg）
試合時間　　1分30秒2R (休憩 30秒)
※体重が近く、経験数も見合ったマッチメイクをいたします

■優劣を決める採点方法、有効打、判定について

■キッズ空手トーナメント

・胴体、下半身に対しての突きと蹴り
・頭部に対しての蹴り
・足掛け技
◎ 一本勝ち
・反則箇所を除く部分への突き、蹴りなどの有効打撃のダメージにより戦意喪失した場合。身体への影響があり続行が危ぶまれると判断される場合
・技あり2本で合わせ一本勝ちとする。
◎ 技あり
・反則箇所を除く部分への突き、蹴りなどの有効打撃のダメージにより相手の動きが一時的に止まった時、又は大きく崩れた場合、体がくの字になった場合、防戦一方になった場合、倒れて直ぐに起き上がった場合。
・上段の蹴り技がクリーンヒットした場合。・前蹴り・下段蹴り・足掛け技等で相手をきれいに転倒させ、瞬時にタイミングよく下段突きを入れた場合。審判員の判断により、下段突きが無くても技ありとすることもある。
・ほぼ同じタイミングに両選手の上段の蹴り技が決まった場合は、相打ちとし両方技ありとしない。

■キッズ防具空手・キッズ防具キック・レディース防具キックTSルール

◎防具の着用について
・面防具（公式）・拳防具（公式）、胴防具（公式）、脛当てが必須
◎ルールについて
・頭部（顔面）への突き技が認められます。
・突き・蹴りを相手に正確に当てるとポイント加算
◎試合時間、他について
・本戦2分、延長戦あり
・ポイント制（7点以上で勝負あり・1本勝ち）
・上段蹴り（顎・こめかみ周辺への蹴り技）＝3点。
・上段突き（顎・こめかみ周辺への突き技）＝2点。
・中段蹴り（みぞおち・左右脇腹周辺部分への蹴り技）＝1点。
・中段突き（みぞおち・左右脇腹周辺部分への突き技）＝2点。
・下段回し（大腿部の内側と外側への蹴り技）＝1点。
・下段突き（倒れた相手の胴部に突きを決める、または頭部に寸止めの突きを決める）＝2点
◎場外、転倒、他について
・場外に出た場合相手に1ポイントを追加する。
・転倒したら相手に1ポイントを与える（倒れながらの攻撃は可とするが、技が決まらな・かったら転倒注意で相手に1ポイントを追加する）。
・相手の手首を掴んだりかけたりすることは可とする。

■キッズキック・レディース・メンズキックルール

○ 体全体へのパンチとキックが有効　※反則箇所を除く
・ダメージ・有効打の評価
・試合運びの評価
判定基準 例）赤はミドルでダメージを与えているが、青はキャッチし崩している状態が続いた場合では、崩している選手よりミドルでダメージを受けている者が減点となる。

■反則行為について

■キッズ空手トーナメント

1) 顔面へのパンチ。それ以外はキックの反則禁止事項に準ずる
2) 近距離戦におけるバッティング(ヘッドガードのぶつかり合い・頭突き)
※ 両者ともに自らぶつかっている場合は、両者減点とする
3) 顔面への膝蹴り
4) ひじ打ち
5) 相手を押す行為

■キッズ防具空手・キッズ防具キック・レディース防具キックTSルール

1) 背面・後頭部・股間・足の甲への攻撃
2) 空手着を掴む、または、相手を抱え込んでの投げ技(ただし足払い・倒し技は可)
3) 下腹部(帯より下、股関節より上)への攻撃
4) 空手着を掴んでからの攻撃、抱え込み
5) 頭突き
6) 頭をつけての攻撃や頭を低くして攻撃
7) 首への攻撃、膝への関節蹴り
8) 背後からの攻撃、倒れた相手への攻撃
9) 投げ技
10) 背面・後頭部・股間・足の甲への攻撃
11) その他、審判が反則とみなした場合

■キッズキック・レディース・メンズキックルール

2) 顔面への膝蹴り
3) ひじ打ち
4) 金的攻撃 (ローブロー)
5) 頭突き
6) バックブロー
7) 噛み付きサミングなど常軌を逸した攻撃
8) ロープを掴んでの攻撃
9) ベルトライン以下のダッキング
10) 相手の上へ倒れこんで床と挟む行為
11) ダウン後の相手へ更なる攻撃
12) 相手を腰へ乗せた投げ、背負い込む投げ、足をかけた投げ、サバ折り
13) 後ろを向く行為、後頭部への攻撃
14) すべての体位での関節及び締め技 (立位・座位・寝位)
15) 対戦相手、関係者への罵声など

■罰 則

1) 反則禁止事項が悪質の場合、1 度目で失格となる場合がある。悪質な場合は以後の大会に出場禁止。
2) 金的、頭突きなどが偶然の場合、1 度目は注意、2 度目以降は減点対象となり4回目で失格(反則負け)となる場合がある。ダメージが軽度な場合は減点の対象としない。
※ レフリーの裁量にゆだねる(大会本部と協議)
3)偶然による反則行為での試合続行不可能の場合はそこまでの判定とする。

4) イエローカードとレッドカーを提示するタイミングはレフリーの裁量にゆだねる
イエローカード・・・減点1～2
レッドカード・・・失格（イエローカード2回で失格）

■判定・試合内容への抗議について

試合の判定がいかなる結果であろうとも、一度決まった裁定は基本的に覆りません。
審判団の判定並びに、試合内容に対しての異議申し立ては一切受付いたしません。
ただし、判定が協議規定に反していると思われる場合は所属ジム/道場の代表者を通してのみ異議申し立てを受け付けます

■防具について

■空手ルール持参防具

面・拳サポーター(布製)・膝サポーター・すねサポーター(布製)・ファウルカップ
※ 上記防具について貸し出しは一切ありません。
※ 胸パットは推進し、着用については出場者の任意とする。しかしながら、腹部には　　パットが無い物のみ使用可能とする。
※正面ガードは針金、アクリル製共に可
※貸出なし

■TSルール持参防具

面防具・拳防具・胴プロテクター（全て指定防具）
拳サポーター・ファールカップ・アンダーガード（任意）・スネサポーター・膝サポーター
※貸出しあり：面防具・拳防具・胴プロテクター

■キックルールー般持参防具

膝パット・レガース(布製不可）・ヘッドギア・ファールカップ・マウスピース
・バンテージ
《防具を巻くテープについて》
※ 外れそうな防具は各自でビニールテープ持ち込み巻いてください。
　テープの貸出はなし。
※ 貸出防具についてはテープを巻かないこと。

■主催側貸出用具

■キッズキック
12オンスグローブ・ヘッドギア
■レディース・メンズキック
16オンスグローブ・ヘッドギア・シンガード

■服装について

■キッズ空手・キッズ防具空手
　空手道着

■キッズキック・レディース・レディース防具キック・メンズキック

上半身は裸 or Tシャツ or ラッシュガード（刺青、タトゥーはラッシュガード着用）

下半身はキックパンツ or ハーフパンツを着用し、上半身の着衣はパンツの中に入れること (スパンコール・ファスナー・ボタン・ポケットの無い物を着用する)を厳守してくださ
い。

■審判について

■キッズ空手トーナメント

主審1名、副審2名の計3名の判定
◎審判は パンチ・キック・組技の攻防をしっかり見極め、採点基準を心得て公平な
ジャッジをする。

■キッズ防具空手・キッズ防具キック・レディース防具キック（TSルール）

主審1名、副審2名の計3名の判定 7点以上の先取で勝負あり・一本勝ち

■キッズキック・レディース・メンズキック

1）レフェリー1 名 ジャッジ 3 名(判定はジャッジ 3 名の採点による
2） 採点は ① ノックダウン ② 有効打数 ③ 攻勢点(リングゼネラルシップ)を優先順とし、公平に審判する。
※ ミドルキックは腕でブロックしても腕にダメージが残り、腕への有効打とみなす。
3）主審は弱者救済を旨に、常に選手の安全性を優先し、試合を中断又は中止できる。
4） 主審はダウン時の見えない角度の攻撃に関しては副審に確認義務とし、副審のジャッ ジを採用する (ラウンド中その時点で、副審が主審に告知)
5） 主審はダウンカウント中に起き上がった選手に対して目線の確認、及び歩行を確認す る。

■セコンドについて

■キッズキック・キッズ防具キック・レディース・メンズキック

1）セコンドは2名まで。インターバル中リング内には1人のみ可能。
2）試合中の選手への声援や技術アドバイスなどは常識の範囲内とする。
※ 相手選手への誹謗中傷(悪口)は禁止。
3）ラウンド中に選手に触れる、リング内に入る行為は選手が失格となる場合がある。
※ エプロンに乗り出したり、手をついたり、物を置くこと、及びロープを掴む行為は全て禁止。
4）リング内、リング周りを水で汚した場合、ラウンド開始までにタオルなどで手早く清 掃する。
※ 10 秒前のアナウンスで速やかにリングを降りて開始のゴングで選手を送り出す。
5）ラウンド中の棄権は、リング内にタオルを投入することで意思表示をする。
※ タオル投入後、素早く選手の保護に努める。
6）試合中はレフェリー、ジャッジの指示に従うこと。従わない場合は自軍選手の減点と なる。
※リングの高さによるが試合中エプロン下で立った状態でのセコンド応援は観 戦の障害となるので禁止。
7）服装はスポーツウェア、または統一したユニフォーム、制服とする。

■観戦マナー・ルールについて

1）過度なコーチングは選手への警告対象となります
2）1試合で警告が2回、または退場処分を受けた場合、その選手は不戦敗となります
3）保護者・関係者による判定への問い合わせ、映像や写真を使っての抗議は一切認められません
4）観戦マナーに問題があると主催者側が判断した場合は、ご退場いただきます

5）会場でのお客様同士のトラブルにおいて主催者は一切関与しません
6）ゴミは各自で持ち帰ってください
7）周囲に迷惑となるような過度の応援は控えてください
8）会場内での飲酒は固くお断りいたします
9）興業の進行の妨害、スタッフ・関係者に対しての誹謗、中傷となるような行為については警察に通報する場合がございます

■試合中の撮影、SNSの投稿について

1）ライトやフラッシュをたいての撮影、他の観客、選手、スタッフの妨げとなる撮影は禁止します
2）SNSへ投稿する際は、相手選手への敬意を持って投稿し、誹謗中傷のないようにしてください
3）大会中に撮影された写真・映像について、主催者が広告・広報・記録等の目的で無償使用できるものとします。

■スポーツマンシップ

S1武道祭は勝敗だけでなく、礼節・挑戦・成長を大切にする大会です。
対戦相手、審判、スタッフ、観客への敬意を持ち、正々堂々と戦ってください。
「最強」を目指すだけでなく、「最高の武道家・格闘家」を目指しましょう。

■免責事項・注意事項

1）本大会は、空手・キックボクシング等の格闘技競技を行う大会であり、競技の性質　上、打撲、擦過傷、捻挫、骨折、脱臼、脳震盪その他の負傷・疾病等が発生する可能性　があります。参加者はこれらの危険性を十分に理解したうえで、自らの意思と責任にお　いて参加するものとします。
2）参加者は、あらかじめ自身の健康状態を確認し、競技への参加に支障がないことを自　己の責任において確認するものとします。体調不良、負傷、睡眠不足、疲労その他競技　に適さない状態での参加は認めません。
3）大会中、参加者に体調不良、負傷、脳震盪その他の異常が認められた場合、主催者、　医師、救護スタッフまたはレフェリーの判断により、試合の中止、棄権、出場停止その　他必要な措置を講じる場合があります。この場合、参加費等の返金は原則として行いま　せん。
4）競技中または会場内において負傷、疾病、事故等が発生した場合、主催者は必要に応　じて応急処置、救護対応、医療機関への搬送要請等を行います。ただし、主催者の故意　または過失による場合を除き、参加者自身の負傷・疾病等について、主催者がその損害　を補償するものではありません。
5）競技中の安全確保のため、レフェリー、審判、医師、救護スタッフおよび大会本部　は、選手の安全を最優先として、試合の中断、中止、棄権または出場停止等を判断する　ことができます。参加者はこれらの判断に従うものとします。
6）参加者は、大会主催者が定める競技ルール、防具、服装、装備、セコンド、観戦その　他の大会運営上の規定を遵守するものとします。規定に違反した場合、出場停止、失　格、退場その他の措置を受ける場合があります。
7）防具その他の装備については、参加者自身が使用前に破損、劣化、サイズ等を確認　し、安全に使用できる状態を維持するものとします。主催者が貸し出す防具について　も、使用前に異常がないか確認し、異常を認めた場合は直ちに大会スタッフへ申し出る　ものとします。
8）主催者が貸し出した防具その他の用具について、通常の使用方法を逸脱したことによ　る破損、紛失等については、使用者に費用の負担を求める場合があります。
9）大会会場内での貴重品、手荷物等の管理は、参加者および来場者自身の責任において　行うものとします。盗難、紛失、破損等について、主催者の故意または過失による場合　を除き、主催者は責任を負いません。
10）大会会場への移動中、帰宅中その他大会会場外で発生した事故、盗難、紛失、トラ　ブル等について、主催者は責任を負いません。
11）天候、災害、交通事情、感染症、施設・設備上の事情、行政機関等からの要請、そ　の他やむを得ない事情により、大会の全部または一部を中止、延期、変更または時間短　縮する場合が

あります。
12）前項の場合、参加者に対する返金の有無および金額については、その時点での大会　運営状況、発生済み費用等を考慮し、大会本部が決定するものとします。
13）参加者または保護者は、申込時に登録した情報について、正確な情報を提供するも　のとします。虚偽の申告、重要事項の未申告その他大会運営上必要な情報を故意に隠し　たことにより生じた事故等について、主催者は責任を負いません。
14）未成年者が参加する場合、保護者は本募集要項および大会規定を十分に確認し、競　技の危険性、参加者本人の健康状態および競技参加について十分に理解・確認したうえ　で参加を申し込むものとします。
15）未成年者について、競技中に主催者、審判、医師または救護スタッフ等が安全上必　要と判断した場合には、保護者の意思にかかわらず、試合の中止、棄権、出場停止等の　措置を講じる場合があります。
16）参加者または来場者が大会運営、審判、他の参加者、スタッフ等に対して、誹謗中　傷、暴言、威嚇、迷惑行為その他大会運営を妨げる行為を行った場合、主催者の判断に　より退場、出場停止、失格または今後の大会への参加をお断りする場合があります。
17）大会に関する判定、試合の中止、マッチメイク、出場可否その他の大会運営上の判　断については、選手の安全および大会の公平な運営を最優先として、大会本部、審判団　等が決定するものとします。
18）本大会への参加申込みを行った時点で、参加者および未成年者の場合は保護者は、本募集要項、大会規定、競技ルールおよび本免責事項の内容を確認し、これらに同意したものとします。

■キャンセル及び返金について

1）参加者都合によるキャンセル
参加申込後、参加者または保護者の都合によるキャンセルについては、原則として参加費の返金はいたしません。ただし、主催者が個別に返金を認めた場合には、振込手数料等の実費を差し引いた金額を返金する場合があります。
2）主催者の都合による大会中止
主催者の都合により大会を中止した場合は、原則として参加費を全額返金いたします。
ただし、既に発生した大会運営上の実費その他やむを得ない費用については、返金額から控除する場合があります。この場合は、主催者がその内容を参加者に通知します。
3）天候・災害・感染症・行政指導・交通機関の事情その他やむを得ない事由による中止
台風、豪雨、地震、火災、感染症の流行、会場施設の使用不能、行政機関からの要請・指導、交通機関の大幅な乱れ、その他主催者の合理的な管理が及ばない事由により、大会の全部または一部を中止、延期または内容変更する場合があります。
この場合の参加費については、開催準備および運営に要した費用等を考慮し、返金の有無および返金額を主催者が決定するものとします。
4）大会途中での中止
大会開始後、天候の急変、会場設備の不具合、事故、災害、その他安全上の理由により大会を途中で中止した場合、原則として参加費の返金はいたしません。ただし、主催者が返金を行うことを決定した場合は、その決定内容に従うものとします。
5）一部競技のみ中止となった場合
天候、参加人数、会場状況、安全上の判断その他の事情により、一部の競技またはカテゴリーのみを中止、変更または短縮する場合があります。この場合の返金については、主催者が個別の状況を考慮して決定します。
6）返金方法
返金を行う場合は、原則として参加者本人または保護者名義の指定口座への銀行振込により行います。振込に必要な口座情報等については、主催者が別途指定する方法により提出していただきます。返金に伴う銀行振込手数料については、原則として参加者の負担とします。
8）返金に関する最終判断
大会の中止、延期、変更等に伴う返金の有無および金額については、開催準備に要した費用、会

場費、審判・スタッフ費、備品費その他の運営費用等を総合的に考慮し、主催者が決定するものとします。
9）法令等との関係
本規定は、主催者の故意または重大な過失による損害について、主催者の責任を免除するものではありません。また、その他法令上免責が認められない事項についても同様とします。
10）試合申込後、マッチメイクができなかった場合（試合不成立の場合）は全額返金と致します。その場合の振込手数料は主催者が負担いたします。

■申込について

1）申込は下記の申込フォームからお願いいたします。
2）申し込みがされた時点で募集要項のすべてに同意したものとみなされますので募集要　項を良く読んだ上で申込をお願いいたします。
3）参加申込をする選手名でのお振込みをお願いいたします。
4）参加費の振込先は下記のとおりとなります。

銀行名　多摩信用金庫
支店名　相模原支店
口座種別　普通口座
口座番号　0148607
口座名　AKIRA budo school 青木 亮（アオキ　アキラ）

【申込フォーム　QRコード】

問合せ先：　AKIRA budo school(亮武道學校) 090－8323－5224（ 青木 ）